



在学生のワタシ★アクション!

故郷の海を舞台に、いざ、国体へ!

特集01 総合政策学部の地域に根ざした学外学習

特集02 大学の多彩な講座で知識を広げよう!

ラボ★アクション!

キャンパスフランス・バルーンアートサークル

KENDAI NEWS

ケンダイ広報局

卒業生のワタシ★アクション!



卒業生のワタシ★アクション!

高次機能障がい者と家族を支え、
岩手を支援拠点の先進地に。



黒岩先生が手がけたロシア語教育やロシア研究の著書。

ラボ★アクション!

先生たちの 研究の流儀

地域のシンクタンクであり、多彩な学部を擁する岩手県立大学には、個性豊かな先生がたくさんいる。彼・彼女らがどんな想いを抱き、日々どんな研究に取り組んでいるのか。その横顔に迫ってみたい。



「歴史学の世界」の授業風景。カリキュラムの後半では、日本が抱える3つの領土問題を取り上げる。

と声をかけられたのだ。こうして1998年、岩手県立大学に赴任し、学内唯一のロシア研究者としての一歩を踏み出した。現在はロシア語やロシア文化、歴史学の授業を担当するほか、北方領土をはじめとする「境界研究(ポーター・スタディーズ)」にも取り組む黒岩先生。2017年4月からはNHKラジオ「まいにちロシア語」の講師として出演することが決まり、「これを機会に、ロシア語に興味を持つ学生が増えてほしい」と期待を寄せる。

「知りたいという気持ちに従って行動していたら、チャンスが生まれ、道が拓けた。人生のあらゆる挑戦や経験が今につながっている」と話す黒岩先生。だから「そ、学生にも「居心地のいい場所に閉じ込められず、積極的に外に出て挑戦することの大切さや楽しさを、授業を通して伝えたい」と考えている。

行動すること、チャンスが生まれ道が拓けた。「アクション」の大切さを伝えたい。

大学時代、第二外国語にロシア語を選んだことがきっかけで、19世紀のロシア文学や思想に興味を持った黒岩幸子先生。早稲田大学大学院に進み研究を続けるが、次第に限界を感じ「過去の掘り起こしより、今のロシア(当時はソビエト連邦)を体感したい」と思うようになった。

修士課程を修了後、ロシア関連の就職先を探し日本航空モスクワ支店へ。3年間住

んでみて感じたのは「日本で報道されている殺伐としたソ連」とのギャップだった。人々のユーモアや、知的で豊かな文学や芸術。「この目で見なければわからない」ことを実感した。

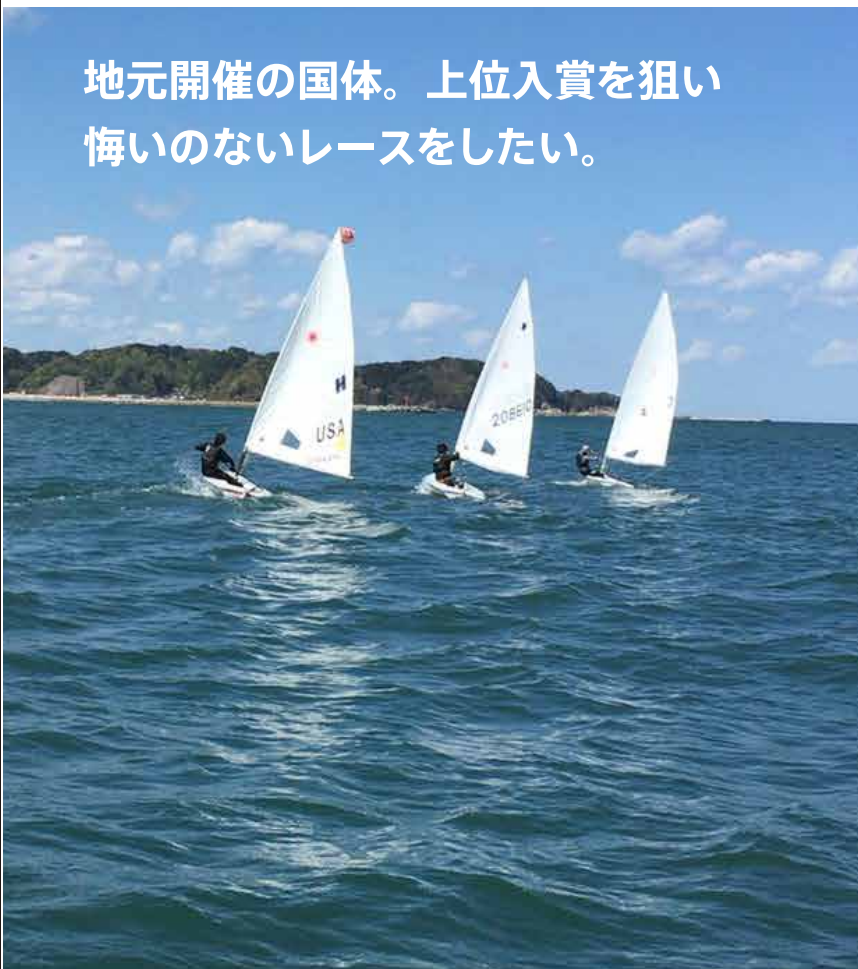
帰国後はロシア語の通訳・翻訳者として活躍。まもなくしてソビエト連邦が崩壊すると、ロシア語通訳の需要が増えた。そのひとつが日本人と北方領土に居住するロシア人との「ビザ無し交流」。この仕事を通じて「現地地暮らし住民の意識の違いと領土問題」に興味を持った黒岩先生は、北海道へ移住。継続的に北方領土を訪れるうち、政治家や研究者などさまざまな分野の人たちとの出会いから視野が広がった。「辺境だからこそ見える世界」を掘り下げてみたい。かつての研究への情熱がよみがえった。

そんな中、転機が訪れた。知人に「岩手に新設される大学でロシア語を教えないか」

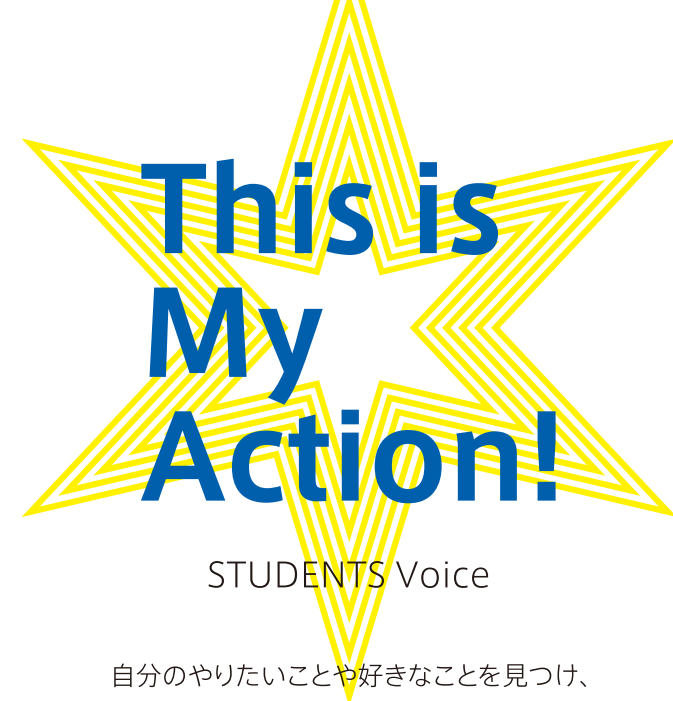
DATA

高等教育推進センター 黒岩 幸子 教授

佐賀県生まれ、東京育ち。慶應大学文学部を卒業後、早稲田大学大学院文学研究科ロシア文学専攻に進み、1982年修士課程を修了。航空会社モスクワ支店勤務、通訳・翻訳業などを経て、1998年岩手県立大学創設時に赴任。現在はロシア語や歴史学の授業を担当しながら、ロシア語教育や境界研究をテーマに研究に取り組む。趣味は岩手に来てから本格的に始めた登山。岩手山や早池峰山など、県内外の山を踏破中。



地元開催の国体。上位入賞を狙い悔いのないレースをしたい。



STUDENTS Voice

自分のやりたいことや好きなことを見つけ、その実現に向かって頑張っている学生たちがいる。彼らが何を思い、どんな行動を起こしているのか。一人ひとりの「ワタシアクション!」をご紹介します。

今年10月開催の希望郷いわて国体に向け「集中力の持続、操船技術の向上など課題を克服して臨みたい」と意気込む。

私の地元・宮古市はヨット(セーリング)の盛んなまち。祖父や父の影響で、高校からヨットを始めました。

毎日練習に明け暮れインターハイや国体にも出場。充実の3年間でしたが、思うような成績を残せず悔しさもありました。卒業後はヨットを辞める仲間が多い中、私は競技を続けるために地元に残り、岩手県立大学宮古短期大学部に進学。平日は勉強とアルバイトに励み、週末は高校時代からの練習場所「リアスハーバー宮古」を拠点に活動しています。

遠征等で授業を休むこともあり、学業と競技の両立は大変ですが、短大の友人や先生も応援してくれ、希望郷いわて国体への出場が決まったときも喜んでくれました。短大には岩手県内外から学生が集まるので、言葉や文化などの違いを知るのをおもしろい。地元の短大ではありませんが、いろいろな価値観に出合うことができ、高校時代とは比べ物にならないほど人脈も視野も広がっているのを実感します。

10月に開催される希望郷いわて国体のセーリング競技は、地元宮古市が会場。私は「レーザーラジアル級」という1人乗りの種目で出場します。成年女子の岩手県選手は私1人で、他県代表には世界で戦うトッププレイヤーもいます。そんな憧れの選手たちと一緒にレースをするのは、いろんな刺激をもたらるので楽しみ。自分なりのベストを尽くし、上位入賞を狙いたいです。地元開催というプレッシャーも感じますが、慣れ親しんだ宮古市の海で、悔いの残らないレースをしたいと思っています。

ワタシ★アクション!

岩手県立大学宮古短期大学部1年

小成 海舞 Mima Konari

1997年生。奈良県で生まれ、6歳のとき宮古市へ。宮古商業高校入学と同時にヨットを始める(ちなみに祖父は宮古商業高校ヨット部の創設者)。2016年岩手県立大学宮古短期大学部に進学。「自立したい」と始めた一人暮らしでは自炊にも挑戦。得意なメニューは肉じゃが。また甘いもの全般が大好きで、特にマカロンがお気に入り。



...See You
Next
Action!

地域でのフィールドワークを 課題解決に取り組む一歩に!

岩手県立大学の総合政策学部は少人数制の演習・実習科目を始めとして、独自のカリキュラムを展開している学部だ。
特徴的なのが、地域を学びのフィールドとした学外学習を数多く取り入れていること。実際に地域に出て、人々と交わることで、机上の理論に止まらない多様な学びを学生たちは吸収している。
この学外学習が地域と学生にもたらす効果をご紹介します。



裁判員裁判を傍聴する専門演習。被告の心理状況や裁判官・裁判員の考え方を知り、多面的な考えを学ぶ。



経済実習では町の地域産業の実態と課題を明らかにし、住民とその課題解決に向け実践。写真は雫石町の軽トラ市の様子。



地域社会調査実習では地域の現状を知り、その課題について調査・分析を行う。



自然環境および社会環境などを調査し、その分析方法を学ぶ、環境調査実習II。



専門演習の一環として行われた島越地区でのお祭り支援。住民と学生が力を合わせて神輿を担ぎ、祭りを成功させた。



祭りをサポートしながら、 地域の実情や文化を学ぶ

「ワッショイ!ワッショイ!」と威勢のいい掛け声が、田野畑村の島越地区に響き渡る。取材に訪れた7月31日は、曳舟行事なども行われる島越大神宮祭。住民たちが華やかに飾り付けられた大小の神輿を担ぎ、地区内を練り歩く。

島越地区は田野畑村の漁業の中心的な役割を担ってきた地域だが、津波によって壊滅的な被害を受け、島越駅や魚市場、海沿い近くにあった住戸も流出した。復興へと進む中で、祭りの復活は地域の大きな希望。震災後の平成24年に復活し、平成27年には高台移転し、新しくできた地区にも神輿が巡るようになった。

今回、祭りに参加したのは、田島平伸教授の専門演習を受講する7名の学生と大学院生1名。開学間もない頃から田野畑村の活性化に関わってきた岩手県立大学では、教育・研究活動を通じ相互に交流を深めてきた。

現在の島越地区の大きな課題は震災により2つの地区に分かれたコミュニティを一つの地区として維持すること。学生が継続的に祭りなどの行事をサポートすることは、地域のコミュニティの形成においても大きな役割を果たす。また、学生にとっても住民とのコミュニケーションを通じて課題を把握し、そこで得た知識や経験を今後の教育研究活動につなげていくことができる。

学外学習は生きた学びの場、 問題発見・課題解決の道筋を探る

学生が関心を持った問題に対し、多様な学問を組み合せ、課題解決に取り組む。このような「問題発見・課題解決指向型」の学びのスタイルを追求する総合政策学部では、従来の縦割的な学問体系ではなく、それぞれの関心に則して専門領域の柱を決め、そこから枝葉を伸ばし、関連性を見出せるカリキュラムを取り入れている。

なかでも3年次から始まる専門演習や実習は、問題発見・課題解決のプロセスを体験できる貴重な場。自治体や企業などが抱える諸問題を分析・検討する「行政・経営コース」と、環境問題や地域づくりを実践的に学ぶ「環境・地域コース」の2つの履修コースにおいて、多様な学外学習の機会を用意している。

たとえば、「行政・経営コース」の経済実習は、「商店街・商業」に焦点を当て、地域経済の現実に向き合うことで課題を把握し、その上で課題に対する提言を行い、地域の関係者とともに実践していく。また「環境・地域コース」の環境調査実習IIでは、さまざまな自然環境の調査法を学んだ上で、暮らしとの関わりについて調査を行う。

このように現地に足を運び、実際に見聞したことに基づいた分析や解決策へのアプローチを、総合政策学部では生きた学びとして重点的に取り組んでいる。



NEWS 1

体に優しい減塩弁当をイオンと共同開発!

イオンリテール株式会社と盛岡短期大学の2年生がタッグを組み、体に優しい減塩弁当を開発した。この「イオン弁当開発プロジェクト」に参加したのは、生活科学科食物栄養専攻の有志の学生たち。大学で学んだ知識を活用しながら学生ならではの視点でアイデアを提案、試行錯誤を繰り返しながら弁当づくりに挑戦した。

発売は、10月14日～12月20日(予定)。計5種類のお弁当を2週間ごとに岩手県内のイオンにて販売する。10月29日、30日に開催する岩手県立大学大学祭でも全種類のお弁当が販売されるので、この機会にぜひ食べていただきたい。数量限定なのでお早めどうぞ。



NEWS 2

スマホで競技情報をラクラク検索、希望郷いわて国体・大会観戦サポートアプリRootersを開発!



ソフトウェア情報学部と総合政策学部の学生がプロジェクトチームを組んで、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の観戦をサポートする、スマートフォン用アプリRooters(ルーターズ)を開発した。これは、ソフトウェア情報学部の授業(プロジェクト演習)の中で学生たちが企画し、実現を目指してプロジェクトチームを組んで開発を進めたもの。Rootersには、以下のような便利機能がたくさん盛り込まれている。

競技会場をカンタン検索!

いつ・どこで・どんな競技が行われるのかをワンタップで検索できる!今まで知らなかった競技、好きなスポーツが意外と近くで開催されているかもしれない。

観戦スケジュールをカンタン作成!

観戦する当日のスケジュールを作ることができる!会場までの移動時間の表示や、ワンタップでGoogleナビを起動する機能など、便利な機能がたくさん!

ブレイクタイムも便利にサポート!

会場周辺の飲食店情報などもチェックできるので、その日のランチも一緒に計画できる!Rootersさえあれば、観戦以外のブレイクタイムもたっぷり楽しめる。

Rootersを使えば、自宅から一番近い競技会場もカンタン検索。
スマホにダウンロードして、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会をいっぱい楽しもう。
▶アプリのダウンロードはこちらから⇒ <http://yurue.xyz/app/rooters/>

[学外学習を通じた地域貢献]



地域課題の解決につながる取り組みへ!

<行政・経営コース>

国や自治体、企業などが抱える諸問題を法律・行政・経営・経済などの視点で分析・検討。マネジメント要素を重視した学びが特徴。
[演習・実習]政策課題実習、社会調査実習、法学実習、経営実習、経済実習、経営・経済調査実習、専門演習Ⅰ～Ⅳなど

<環境・地域コース>

環境問題や地域づくりを理学・工学・農学・社会学などの視点で多面的に捉え、政策の立案・運用・評価を実践的に学ぶ。
[演習・実習]地域調査実習Ⅰ・Ⅱ、地域社会調査実習、環境調査実習Ⅰ・Ⅱ、地域環境調査実習、専門演習Ⅰ～Ⅳなど

[~田野畑村でのお祭り支援を振り返って~]

現在、青年会には25名ほどのメンバーがいるのですが、地区の行事を行うには人手が足りず、地区外の知人に手伝ってもらっているのが現状です。特に鳥越大神宮祭は地域の宝。震災でバラバラになった住民をつなぐ要の祭りでもありますので、岩手県立大学の学生たちのサポートはとてありがたい。それ以上に彼らと交流できるのは楽しく、地域にも活気が生まれます。卒業後も鳥越とつながり、度々顔を出してくれたらうれしいですね。



三浦太知さん(鳥越地区青年会長)

田野畑村とは開学間もない頃からの付き合いですが、授業や調査・研究活動でいつも快く協力してもらっています。学外学習は、地域の現状を学ぶ大切な授業。地域の方々と交流することでコミュニケーションも身につきますし、地域の仕事や暮らし、文化、コミュニティでの人間関係を学ぶなど、さまざまな社会勉強にもつながります。普段お世話になっているぶん、困っている時はサポートするなど、地域との関係を大事に育てていくことも重要です。



田島平伸教授(総合政策学部)

政策課題実習などで田野畑村には何度か訪れていますが、今回は祭りのサポートを通じて、素顔の村の姿に触れることができました。鳥越大神宮祭は想像以上に賑やかで、体験したことのないことばかり。多くの住民の皆さんと交流しながら祭りを成功させたことは達成感がありましたが、より深く地域に関わることがうれしかったです。機会があれば、また鳥越を訪れてみたいですね。



篠崎誠さん・水本恵さん(総合政策学部3年)

大学や学生との交流を通し、地域課題の解決に役立てる

学生たちが地域に出て、地域をフィールドに自治体や企業、地域コミュニティ、自然環境などの課題に向き合い、2年次までに学んだ調査法や分析法を駆使しながら実践的に解決方法を学ぶ、総合政策学部の学外学習。

座学では十分に知り得ない現実の問題を自分の実感に落とし込み、肌感覚で学ぶことは、学生の視野を広げるだけでなく、地域に対する深い理解と興味を促す。また、地域住民との交流は社会との接点となり、触れ合いの中で社会規範や人間関係、実際の暮らしの営みなどを学ぶ貴重な機会となっている。

一方、学外学習を受け入れる地域にとっては、どんなメリットがあるのだろうか。たとえば、座学では十分に知り得ない現実の問題を自分の実感に落とし込み、肌感覚で学ぶことは、学生の視野を広げるだけでなく、地域に対する深い理解と興味を促す。また、地域住民との交流は社会との接点となり、触れ合いの中で社会規範や人間関係、実際の暮らしの営みなどを学ぶ貴重な機会となっている。

「政策課題実習」は各自治体の政策的な課題を現地で見聞したことに基いて具体的に分析し、その解決策を考える。グループごとに事前調査を行い、その結果をワークショップ形式で整理。その上で対象となる地域を訪れ、現地で問題になっている事柄や取り組みについて見聞、地域の現状と課題、解決策についてまとめ、最終的に行政機関の職員も参加した成果発表会を開催している。

吉野英岐学部長は「このように学生たちが地域と関わることは、地域にとっても若者世代との交流を広げるきっかけになるほか、地域の課題解決に向けたヒントを得ることも結び付く。大学と地域のつながりを相互に育みながら、地域に根ざした教育・研究活動を通して、地域の活性化に向けた取り組みに大学としても寄与していきたい」と述べている。

Campus Friends

Vol.9

バルーンアートサークル

県立大学のサークルや同好会、
学生会活動を紹介する「キャンパスフレンズ」。
生き生きと活動する学生たちの様子をチェックしてみよう。

DATA

バルーンアートサークル

平成16年創部、部員数約35名。新入生歓迎会、オープンキャンパス、大学祭といった学内イベントでの装飾や、中学校や高校の吹奏楽演奏会の装飾、子ども向けの風船パフォーマンスなど、学内外のさまざまなオーダーに対応。新入部員向けの勉強会なども行っており、技術を学びながら個々の感性を活かした創作表現が楽しめる。現在、新規部員を募集中。



大学祭では毎年恒例の「バルーン de プール」を企画、子どもから大人まで風船で遊べる場として人気です。

かにホールを飾ることだろう。

「装飾した作品を見て、かわいい！と喜んでもらえるのが一番うれしい。バルーンアートなんて難しそう...と思う人も多いのですが、実際に体験して、楽しさを知ってもらいたいですね」と小原さん。間もなく開催される大学祭でも、学生たちの作品が華やかにホールを飾ることだろう。

し、力を合わせて作品を作ることが最大の魅力だ。

の小原かなえさん(社会福祉学部3年)。

春に行われた新入生歓迎会では、花やイチゴをモチーフとしたデザインを設定。春らしい世界観を表現するためにイメージスケッチを描き、それに基づいて風船アートを作りあげていく。みんなでアイデアを出

入ったんです。部員のほとんどが初心者ですが、専門的な知識や技術は必要ありません。みんなで作品づくりに取り組んでいるうちに、自然に作り方が身についてきます」と話すのは、代表の小原かなえさん(社会福祉学部3年)。

春に行われた新入生歓迎会では、花やイチゴをモチーフとしたデザインを設定。春らしい世界観を表現するためにイメージスケッチを描き、それに基づいて風船アートを作りあげていく。みんなでアイデアを出

みんなで創造力をふくらませて、一つの作品を作り上げるのが魅力。

岩手県立大学の夏の風物詩、七夕祭。共通棟のホールには、夏らしい彩りの風船がさまざまな形に飾り付けられ、見る人の目を引きつける。七夕からインスピレーションを得て、『バルーンアートサークル』の部員たちが自由な発想で仕上げた作品だ。

創部12年目の『バルーンアートサークル』は、風船を使ってさまざまな表現を行うアート系サークル。先にあげた七夕祭や新入生歓迎会、大学祭などの学内イベントの装飾を手がけるほか、中学校や高校などの吹奏楽の演奏会の装飾など、学外からの依頼も多い。なかには小学校や託児所などに招かれ、子どもたちの前で風船を操り、動物などの形を作るパフォーマンスを披露することもあるという。

「私が入部したのは被災地での風船パフォーマンスを見たことがきっかけ。子どもたちが喜んでいる様子を見て、楽しそうだなと思って入ったんです。部員のほとんどが初心者ですが、専門的な知識や技術は必要ありません。みんなで作品づくりに取り組んでいるうちに、自然に作り方が身についてきます」と話すのは、代表の小原かなえさん(社会福祉学部3年)。

大学の多彩な講座で 知識を広げよう!

「地域社会に貢献する大学」を掲げる岩手県立大学では、開学当時から地域の学びのニーズに応えるため様々な講座を開講している。総合大学ならではの多彩な講座があり、さまざまな知識を学べる場として、多くの地域住民が受講している。



7月23日に滝沢キャンパスで行われた公開講座の様子。この日は「地方創生の時代と岩手県立大学」というテーマで鈴木学長が講義を行った。



アイーナキャンパス(専門・一般講座)
専門的な知見から各学部が講座を開講。写真は総合政策学部による「ものづくり産業の最新動向を知る」というテーマの講座。健康福祉機器産業への参入の可能性や製造分野でのIoTの最新動向を講義した。



アイーナキャンパス(専門・一般講座)
専門的な知見から各学部が講座を開講。写真は看護学部による看護師等を対象とした「コミュニケーション・スキルアップ研修会」の様子。健康や子育てをテーマとした講座もある。



滝沢キャンパス(公開講座)
「岩手県」の現状や未来を共通のテーマとして、幅広い分野から「公開講座」を開講。最新の研究やデータを用いた多様な講座が行われる。



宮古キャンパス(公開講座)
宮古市や沿岸地域の現状や未来をテーマに講座を開講。産業振興や復興、地方創生をテーマとした講座を開催している。



地区講座
大学の教員が地域で講座を開講。平成28年度までに滝沢市、盛岡市、洋野町、宮古市、釜石市など岩手県内各地で開催している。

「学ぶことが楽しく
ためになります!」

**講座
Line Up!**

「岩手県の新たな側面を
知ることができました!」

【平成28年度講座ラインナップ】

- 滝沢キャンパス
 - ・滝沢キャンパス公開講座(7~8月)
- アイーナキャンパス
 - ・IPU情報システム塾(6~2月)
 - ・パソコンステップアップ・いわて善隣塾(4~3月)
 - ・看護技術に関する支援事業(7~11月)
 - ・誰でも参加できるSST(5~1月)
 - ・総合政策学部公開講座(8月)
 - ・盛岡短期大学部公開講座(3月)
- 宮古キャンパス
 - ・宮古キャンパス公開講座(11月)
- 地区講座
 - ・滝沢市・睦大学連携講座(9月)
 - ・洋野町・ひろの町民大学連携講座(2月)

※上記講座のほか、社会人リカレント教育講座や岩手県からの委託事業による専門職人材のスキルアップ研修なども実施している。

公開講座情報は岩手県立大学HPイベント情報で発信中!
<http://www.iwate-pu.ac.jp/whatsnew/cat2/>

**総合大学の個性を活かした
多彩な講座が魅力**

新しい知識を学ぶことは、心楽しく、人生を豊かにしてくれるもの。その喜びを学生だけでなく、広く地域へも還元したいと、毎年開講しているのが地域住民向けの講座だ。

全国の公立大学の中でも数少ない総合大学として、6学部を擁する岩手県立大学は、学べる分野も多種多彩。医療・福祉・情報・政策・生活デザイン・食物栄養・国際文化・経営情報と、多岐に渡った講座が揃っているのが特徴だ。例えば、全学の取り組みとして行われる「公開講座」の今年度のテーマは、「いわての未来を考える」。地方創生、看護、ホームズパン、南極と地球、ICT活用など、さまざまな分野から岩手県の未来を思考する講座が開かれ、多くの地域住民が熱心に聴講した。

**多くの学びの機会を広げるため
地域で講座を開催**

地域住民向けの講座が行われるのは、滝沢キャンパス、宮古キャンパス、盛岡駅前のアイーナキャンパスの3会場。多くが一般向けの講座だが、中には専門職向けのスキルアップ研修など、専門分野に特化した講座なども実施している。

また、大学と地域が連携して実施するものが、「地区講座」。産業振興や地域づくりといった地域に合ったテーマや、食や健康、老いなどの身近なテーマを取り上げ、地域の学びのニーズに応えている。このように講座を通して新たな知識に触れてもらい、地域の人々と直接つながる場は、大学にとっても貴重な機会。教育・研究活動の成果を地域に還元する意味でも、多くの人に参加してもらいたいと考えている。



滝沢・宮古で夏のオープンキャンパス開催!
7月3日に滝沢キャンパスで、7月24日及び8月21日に宮古キャンパスで、オープンキャンパスを開催!滝沢キャンパスでは約2400名が来場。学長の挨拶から始まり、大学・学部紹介や模擬講義、キャンパスアテンダントによるキャンパスツアー、サークルパフォーマンスなどが行われ、参加者は「来てよかった」、「大学のことがよく分かった」、「対応してくれた先輩方が丁寧で優しかった」、「学食が美味しかった」など、岩手県立大学を1日満喫したようでした。
宮古キャンパスは両日で約130名が来場。教育内容・入試・学生生活・就職の説明、そして学生からの体験談の発表の後、キャンパスツアーへ出発。キャンパスツアーでは研究室訪問も行いました。岩手県の沿岸地域で唯一の大学としてその魅力を知っていただく機会となりました。



岩手県内外の高等学校と高大連携事業に関する協定を締結!
ソフトウェア情報学部は5月30日に山形県立酒田光陵高等学校、7月7日に岩手県立盛岡商業高等学校の2校と高大連携事業に関する協定を締結しました。高大連携事業では、高校生の学習意欲の高揚を図るとともに、双方の教育研究の活性化を目指します。



盛岡さんさ踊りで最優秀賞を受賞しました
岩手を代表する夏祭り「盛岡さんさ踊り」。今年も8月3日に総勢210名の学生・教職員が参加し、見事7年連続となる最優秀賞を受賞!!さんさ踊り実行委員会が掲げた今年のテーマは「伝えるさんさ」。さんさ踊りの楽しさを伝えたい、地域に根ざした大学として踊りを通じて『岩手県』の魅力を伝え、地域の活性化に貢献したい、そして、見に来ていただいた皆様へ感謝を伝えたいと3つの想いを込めて、太鼓・笛・踊りが一丸となって踊りました。



期日前投票所を初めて開設しました
参議院議員通常選挙に合わせて6月27日、28日に期日前投票所を設置。大学での投票所の設置は今回が初めてで、岩手県内の大学の中では一番早い実施となりました。また、一人でも多くの学生に参画して欲しいと選挙の啓発活動や当日の運営は滝沢市と協力して学生が主体的に行いました。

震災で得たかけがえのない絆
7月16日、17日に岩手県立大学復興支援国際フォーラムを開催。1日目アイーナで開催したフォーラムでは本学の学生のほか、これまで本学と一緒にボランティア活動を実施してきたオハイオ大学及び本庄国際奨学財団の留学生など約300名が参加。国際的な視点も交えながら、東日本大震災から5年、これまでの振り返りとこれからの復興支援のあり方について考えました。登壇者からは活動を通じた学びや意義とともに笑顔で対応されると心が暖かくなった、「笑顔」は国境を越えるという言葉が添えられました。また、オハイオ大学からはこれまでの活動に対し感謝状をいただきました。
2日目は田老コースと大槌コースに分かれ、田老震災遺構の見学や水ボラ(仮設住宅等へ水を配るボランティア)を実施。その後、全員でワークショップを行い、それぞれの立場・視点から様々な意見を出し合い共有しました。参加した学生にとって刺激を受けた貴重な時間となりました。

岩手県知事から学生へのメッセージ
地域の現状や課題を学ぶ「いわて創造入門」が平成28年度から新設。全学部1年生が対象で7月25日の授業では、達増拓也岩手県知事による講話を実施。「『復興』と『ふるさと復興』で希望郷いわてを実現」をテーマに岩手県の状況や取組について話され、最後には「いわての未来を創造する力を身につけて欲しい」と学生へのメッセージが送られました。学生にとって、改めて岩手の、そして自らの未来を考える機会となりました。



台風10号に伴う災害ボランティアへ
岩手県では台風10号の影響により県内各地で土砂崩れや冠水など甚大な被害がでました。震災から5年、復興に向けて歩んでいるところでの災害でした。本学では、震災直後、学生、教職員に呼びかけ宮古市や久慈市、岩泉町など県内各地で家屋の泥だしや家財の片付けを行ってきました。今後も継続的にボランティアを行っていく予定です。被災された地域の皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

10月29日・30日は大学祭! 楽しいイベントいっぱいの滝沢・宮古の両キャンパスへ!

■滝沢キャンパス



意味:このテーマには、人と人が手を取り合って、新たな絆を生みかけとなる大学祭にしたいという思いが込められています。IPUFesta2016は実行委員だけでなく、運営に協力していただいている方や数多くの来場者がいることで成り立っています。そのような大学祭の運営に携わっている方々や来場者の方に感謝を伝えるとともに、人と人の繋がりがや出会いを大切に、今後さらに広がっていくような大学祭をつくります。

○主なイベント紹介
味覚でシンクロ!/味覚を頼りに答えをシンクロさせる!!果たして勝負の行方は!? Let's taste!!
お化け屋敷/今回の舞台は呪われた病院..今年一の恐怖があなたをお待ちしています。
IPUリーグ~岩手県立大学頭脳王決定戦~/県大の頭脳王は誰だ!?世紀の大クイズ対決が今、ここに...!
みんなでモグモグ!MOG-IPU/たくさんのお店の王者は誰だ!?みなさんの投票をお待ちしています!
IPUフリーマーケット/とっておきの掘り出し物が見つかるかもかもしれません!!ぜひ足をお運びください!

ステージイベント(29日)

日程	時間	イベント名
29日(土)	9:40 ~ 10:00	オープニングセレモニー1日目
	10:15 ~ 10:35	岩手県立大学さんさ踊り
	11:00 ~ 11:55	鉄神ガンライザー-NEO2キャラショー
	12:05 ~ 12:30	ダブルダッチパフォーマンス
	12:40 ~ 13:10	限界への挑戦
	13:10 ~ 13:40	絆相撲~目指せ!3種目制覇!~
	13:50 ~ 14:20	唸れ!エレクトーン
	14:30 ~ 15:00	アカベラライブ2016
	15:20 ~ 16:20	味覚でシンクロ!
	16:30 ~ 17:00	ギタクラLIVE2016
	17:10 ~ 17:40	D.A.T. Electric Dreams
	18:00 ~ 19:00	中夜祭

ステージイベント(30日)

日程	時間	イベント名
30日(日)	9:40 ~ 10:00	オープニングセレモニー2日目
	10:15 ~ 10:40	Stage de JAM!!
	11:00 ~ 11:30	ダンスパフォーマンス
	13:00 ~ 14:00	アーティストライブ
	15:30 ~ 16:15	軽音ライブ
	16:30 ~ 17:00	No music, No future
	17:20 ~ 19:00	グランドフィナーレ

※イベント名等は変更の可能性があります。最新情報→大学祭実行委員会のHPへ

■宮古キャンパス同時開催

時間:両日とも10:30~15:30

○主なイベント お化け屋敷/ビンゴ大会/スタンプラリー 他

食べ物系の企画を多数出展予定!!

詳しくは下記HPにて

講堂イベント(29日)

日程	時間	企画・団体
29日(土)	11:00 ~ 11:40	吹奏楽サークル
	13:50 ~ 15:20	IPUリーグ~岩手県立大学頭脳王決定戦~

講堂イベント(30日)

日程	時間	企画・団体
30日(日)	10:50 ~ 11:25	混声合唱団Polish
	11:40 ~ 12:20	吹奏楽サークル
	15:40 ~ 17:10	想い届け!以心伝心ゲーム



※写真は昨年度の大学祭(滝沢の様子)

同時開催 OPEN CAMPUS in IPU Festa 2016

今年も大学祭とオープンキャンパスがコラボレート!大学祭を楽しみながら、県大での学び・生活への理解を深めよう!!

■オープンキャンパスイベント(10:00~17:00)
大学紹介・入試相談や学部を身近に感じる体験・紹介イベント、在学生の「キャンパス・アテンダント(CA)」による相談、キャンパスツアーも。そのほか、県大の魅力伝えるイベントが満載。迫力の大画面「ドライビングシミュレータ」などを体験できるi-MOS施設公開もお見逃しなく!
詳しくは <http://www.iwate-pu.ac.jp/>



This is My Action!

OB&OG Voice

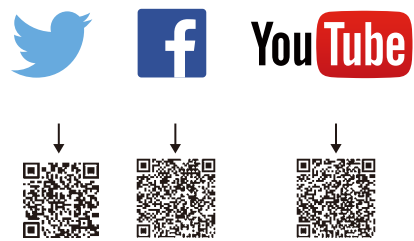
大学で学んだことを自分の糧としながら、様々な分野で活躍する県立大学の卒業生たち。それぞれの職場や地域で頑張っている卒業生の「ワタシアクション!」をご紹介します。

編集後記

今回の特集1と2のコンセプトは「地域、大学、学び」という3つの共通のワードから2つの全く違う視点で学びを捉えてみました。特集1では総合政策学部の学外学習から学生が地域をフィールドに学ぶ意義を、特集2では地域の方が大学で開講している各種講座を受講し学ぶ様子をお届けしています。大学は学生にとっての学び舎ではありますが、地域の方にもっと県立大学に親しみを持っていただき、教育に参画していただいたり、大学で学んでいたりと大学を活用していただければ幸いです。最後に学生が頑張っている盛岡短期大学の減塩弁当やソフトウェア情報学部のアプリもぜひ注目してみてください!! (企画室 梁田)

岩手県立大学のホットな情報発信中!

岩手県立大学では、お知らせやイベント情報などをリアルタイムに発信するためTwitter公式アカウント【@IPU_official】、Facebook、YouTubeで情報提供を行なっています。是非、ご覧ください。



広報誌【IPUアクション!】へのご意見・ご感想や、広報に関する皆様のご意見をお聞かせください。(下記の企画室のあて先までお寄せください)



一人ひとりの患者に寄り添いながら、地域で支援する仕組みをつくりたい。

職場では、吉田さんを始め4名の支援コーディネーターのほか、医師や看護師など様々な業種の職員がチームを組み、高次脳機能障がい者をサポート。綿密なミーティングが欠かせないという。

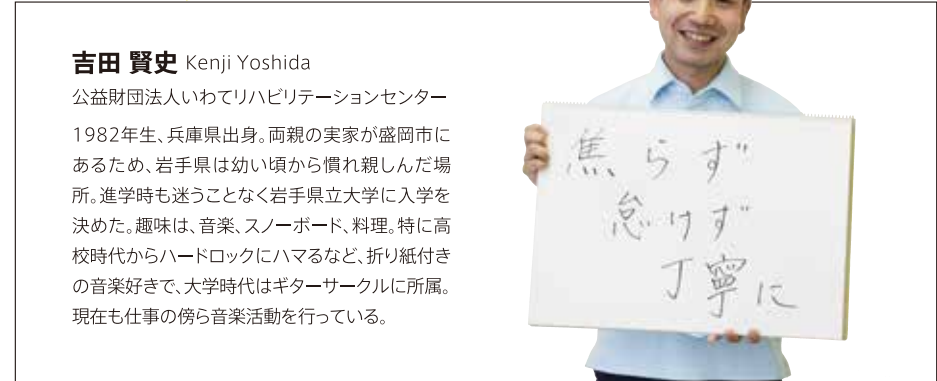
私が心理学に興味を持ったのは、高校の時。大学で心理学を専攻していた知人に話を聞くうちに、学んでみたいという思いが強くなったんです。進学先はいろいろリサーチしましたが、福祉も心理も両方学ぶことができる岩手県立大学の社会福祉学部へ。当時は開学して4年目の時期でしたから、自分たちの手で大学をつくっていくんだという空気が満ちていましたね。

卒業後は、特別介護老人ホームの生活相談員などを経て、いわてリハビリテーションセンターに就職。上司の薦めもあって、岩手県立大学の大学院に進み、社会人の院生として専門知識を深め、臨床心理士の資格取得も目指しました。大学院では心理に止まらず、さまざまな分野の知識を学び、他職種の院生と交流したことが、大きな刺激に。改めてこれまでの自分を振り返り、視野を広く持つことの大切さを実感しました。

現在は、臨床心理士として患者さんの心理面接や家族支援等を担当するほか、岩手県高次脳機能障がい支援コーディネーターとして、高次脳機能障がい者を支援する体制づくりや研修指導などを行っています。当センターは岩手県の高次脳機能障がい者支援拠点機関に位置づけられています。4名の支援コーディネーターのほか、様々な業種の職員でチームを組み、高次脳機能障がい者とその家族を支援、各地域の支援者を支援する先進的な取り組みを進めています。

仕事は多岐にわたりますが、一人ひとりの患者さんに真摯に向き合うことが基本。自立して生活できる工夫と一緒に考えながら、一歩、また一歩と、少しでも良くなっていくことが一番の喜びです。一つひとつのケースをしっかりと積み重ね、岩手県内に患者さんを支援する仕組みをつくっていくことが目標です。

ワタシ★アクション!



吉田 賢史 Kenji Yoshida

公益財団法人いわてリハビリテーションセンター
1982年生、兵庫県出身。両親の実家が盛岡市にあるため、岩手県は幼い頃から慣れ親しんだ場所。進学時も迷うことなく岩手県立大学に入学を決めた。趣味は、音楽、スノーボード、料理。特に高校時代からハードロックにハマるなど、折り紙付きの音楽好きで、大学時代はギターサークルに所属。現在も仕事の傍ら音楽活動を行っている。

...See You Next Action!

岩手県立大学の魅力を発信すべく日々活動する学生団体、キャンパスアテンダント(CA)。そんなCAたちがお送りする、県大生の県大生による県大生の今を伝えるためのコーナーです。 (*´▽`*)

ケンダイ★広報局

学生★企画



9 長期休暇ちゃんねる

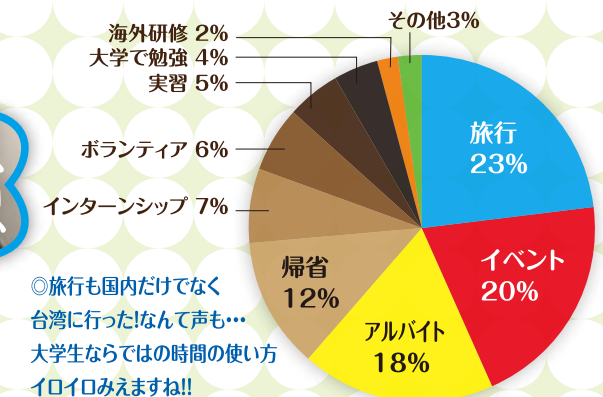
ながーいお休み...これぞ大学生の醍醐味っ(´▽`)/2ヶ月もあるという〜んなことができちゃうんです! 今回は4人の大学生に思い出のエピソードを教えてくださいました!

旅行(一人旅)

ライブは癒し、

りかりか

長期休暇を利用して、大好きなアーティストのライブに行きました。小学生のときにファンになって、それから10年以上応援し続けています。大学の課題が大変なので、彼らの音楽に日々元気をもらっています!私にとってライブは「癒やし」そのものです。メンバー全員とハイタッチしたことが一番の思い出です!



大学生71人に聞いた!!
アンケート結果

海外研修(スペイン)

ままとの交流...

ちよも

スペインでの体験は全部が一番の思い出で絞るのが難しいですね...。強いて言うなら、ホームステイ先のホストマザーとの思い出です!ままと(ホストマザー)とお菓子やご飯と一緒に作ったり、ミサやショッピングに行ったりして異文化体験をすることが出来ました!今でもままとはメールでやり取りして交流が続いています。

イベント(ダンスサークル)

ダンスで充実した夏休み

みっつ

ダンスサークルninoでは毎年11月にjoy-intというイベントが行われるのですが、夏休みの8~9月中に練習が行われます。そこでは同じninoのメンバーだけでなく、県立大学、他大学のダンスサークル、ダブルダッチサークルに加えて、ストリートパフォーマンスクラブも一緒にパフォーマンスをします。ダンスのおかげで充実した夏休みになりました。

番外編~CAの夏休み(CAの長期休暇)

ただ遊んでいるだけじゃありません! 夏休みには高校訪問を行います! 高校訪問 #とは CAが実際に高校へ訪問し、県大の魅力を発信したり、入試相談に対応します! ★☆ご依頼、お待ちしております☆☆

その他(自動車講習)

がっつり!みっちり!みんなで自動車講習合宿

ゆず

山形の教習所で友達と合宿免許をとりました。大変だったことは1日目からいきなり車に乗ることです。合宿は2週間まで本免許試験手前まで取得しないといけないのでとても忙しい日程で進みます!合宿の中で楽しかったのは教習外での食事です!教習所の近くに漁港があって、そこで食べた海鮮丼が人生で一番美味しく、その後の教習も頑張れました!

